

総合型地域スポーツクラブの経営モデルについての研究

—WASEDA Club 2000 を中心とした事例の考察—

A study of management forms of community sports clubs

1K03B116-7 氏名 台丸 千佳

指導教員 主査 宮内 孝知 先生 副査 作野 誠一 先生

1 研究の動機、目的

1995 年、文部省(現在の文部科学省)は「総合型地域スポーツクラブ育成モデル事業」を開始、2000 年 9 月、同省は 2001 年から 10 年計画の「スポーツ振興基本計画」を策定と、近年、スポーツ振興に関する施策が確立されている。それらの中で重要な役割を担っている総合型地域スポーツクラブは、今までの行政主導型と違い、地域住民が主体となって運営するスポーツ振興システムとして登場した。しかし、現状は主体となる地域住民の中での認知度がいまひとつで、総合型地域スポーツクラブの普及、浸透が思うように進まない状態である。同様にスポーツ振興くじ(toto)も普及率の低さから予想を大幅に下回る収益となっている。toto は総合型地域スポーツクラブにとって助成元として、クラブ普及のために大きな役割を果たす存在だ。

そこで、総合型地域スポーツクラブの運営上、柱となるヒト・モノ・カネの「カネ」について、WASEDA Club 2000 といくつかのクラブの収支会計を分析し、助成金に依存しない総合型地域スポーツクラブの経営モデルを見出し、クラブの普及の足がかりとする。

2 各章の要約

第 1 章では、スポーツ振興の歴史と総合型地域スポーツクラブの現状を取り上げた。日本のスポーツ振興の歴史は、第二次世界大戦後より現在に至るまで、社会体育→コミュニティスポーツ→生涯スポーツという変遷を辿ってきている。学校や企業がスポーツの受け皿となった時代を経て、少子化や不景気の影響によりその受け皿が崩壊しつつある現在、生涯にわたってスポーツを行うことができる環境を地域に求め、総合型地域スポーツクラブが誕生した。「スポーツ振興基本計画」では、2001 年からの 10 年間で全国の各市区町村において少なくともひとつは総合型地域スポーツクラブを育成することを目指しており、2005 年 11 月の時点で、総合型地域スポーツクラブを設立する動きが見られない市区町村がまだ半数(54%)ある。これらの市町村が設立の検討に至らない要因として、クラブの概念が住民に定着していない、運営に関わる人材や事業に関わる財源の不足などが挙げられている。

第 2 章では、WASEDA Club 2000 の成立過程と現状に

ついて明らかにした。2000 年に活動を開始した WASEDA Club 2000 は現在、13 種目のプログラムに 1400 人の会員が参加している。開始当初、収入の半分以上が補助金だったが、2005 年度には補助金による収入は 2%まで減少した。補助金にかわって収入の多くを占めるようになったのが前年度繰越金だ。各年の当期収入と支出を比較すると、支出の方が上回り赤字となる年もあり、繰越金を切り崩して補填している。

第 3 章では、NPO 法人ソシオ成岩スポーツクラブなど、全国の総合型地域スポーツクラブのさきがけといわれるクラブについて考察した。とりあげたクラブに共通している特徴として、クラブが自主的に行うスポーツ振興事業と並行して自治体などからの委託事業を行っているという点が挙げられる。特に「指定管理者制度」を活用した施設運営委託事業に積極的に取り組んでいた。収入の面でも委託事業による収入がクラブの収入全体の中で大きな割合を占めている。

第 4 章では、総合型地域スポーツクラブを取り巻く諸制度を取りあげるとともに、これからの総合型地域スポーツクラブの経営モデルをまとめた。クラブ設立後数年はさまざまな方面から補助金を得ることができるが、その補助金をもらえる期間が終わってからのクラブの経営を考えることが重要となる。前例を参考にすると、NPO 法人格を取得し、自治体などからの委託事業を請け負い、クラブが自主的に行う事業との二本柱とすることで安定した経営を行うことが求められる。委託事業に追われ、クラブ本来の活動がないがしろになってしまう場合もあり、すべてのクラブが委託事業を行えばよいというわけではないが、利幅が薄いながらも安定している施設管理運営などの委託事業を活用することで、補助金に依存しないクラブ運営が可能になると考えられる。そのためにも施設管理といったハード面での事業委託だけでなく、スポーツプログラムの提供やスポーツに関する調査などソフト面での事業委託も増やすよう、地方自治体と連携し、行政でも民間企業でもない第 3 のスポーツ振興組織として地域住民のクオリティ・オブ・ライフのために最大限貢献できる存在でありたい。